

人工股関節全置換術を受けられる患者さんへ

患者ID











主治医

担当医

フリガナ

患者名

受持看護師

	手術当日（帰室してから）	術後1日目	術後2-9日目	術後10-退院
目標	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 安静を守ることができる。	鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 歩行器で歩くことができる。	歩行器で歩くことができる。 	杖で歩くことができる。 リハビリで階段の昇り降りができる。 
安静度	手術後はベッド上安静です。ベッドのギャッジアップの制限はありませんが、体の向きを変えたいときや腰の痛みのあるときは看護師に声をかけてください。足の腫れを予防するためにスポンジの台に足を乗せます。	点滴や創の管に注意して、歩行器で歩くことができます。		術後10日目より歩行器から杖に変更します。
治療処置		創には防水の保護剤が貼っています。 術後から毎日創の観察を行っていきます。 	術後7日目にストッキングを外します。	術後10日目に抜糸します。10日目が土日祝日の場合、抜糸は翌平日となります。
点滴内服薬	持続的に点滴をします。 	朝より、手術前に飲んでいた薬を再開して内服します。 痛み止めの内服が5日間始まります。術後1日目より血栓を予防するための内服薬が14日間始まります。 点滴は夕方には終了します。	術後6日目より痛み止めの内服が頓用に変わります。看護師が検温時に内服した時間を確認するので覚えておいて下さい。 薬剤師が自己管理に向けて薬剤指導を行います。	退院に向けて薬剤師が内服薬の説明や服薬方法などについての薬剤指導を行います。
検査	血液検査を行います。 	血液検査を行います。	術後6日目にCT、7日目にレントゲンの検査を行います。 術後3日目・7日目に血液検査を行います。	術後10日目に血液検査を行います。
リハビリ		ベッド上での運動を開始します。 血栓予防や足の筋力を保つために足首を動かして下さい。 術後1日目からリハビリテーション部で運動を開始します。 日曜日・祝日のリハビリはお休みです。 個人で病棟で頑張りましょう。		床からの立ち上がりや、階段の昇り降りの練習をします。 
食事	当日は食べ物は食べてはいけません。	朝、お腹の動きが良ければ(ガスが出れば)水分を摂ったり、食事ができます。		
清潔		看護師が体を拭きます。	術後3日目からシャワーを浴びることができます。	
排泄	手術室より、尿の管が入って帰ってきます。 排泄はベッドの上で行います。	尿の管を抜いてトイレに行くことができます。		
説明	医師より手術についての説明があります。		術後7日目に転院の方向性について主治医からの説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。	
その他			保険関連の入院証明書などの書類は病棟事務員に渡してください。	退院おめでとうございます！